

肺炎球菌ワクチン

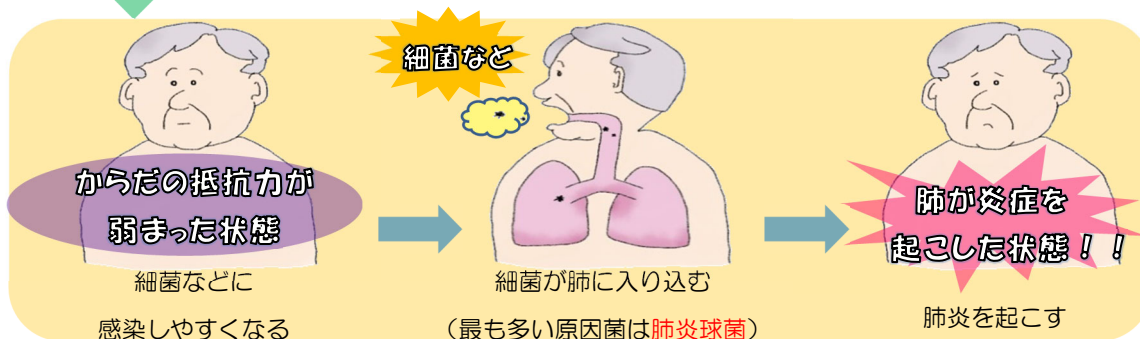
肺炎ってどのような病気？

細菌やウイルスなどが、からだに入り込んで起こる肺の炎症です。

症状として発熱、咳や痰、息苦しさや胸の痛みなどがあります。

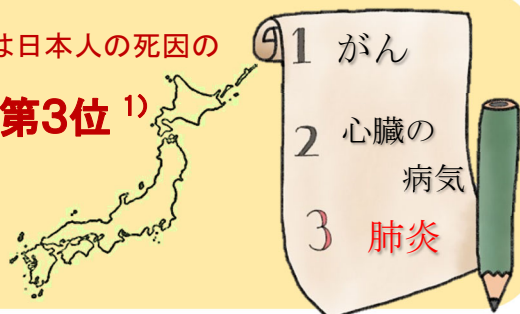
からだの抵抗力(免疫力)が弱まったときに感染を起こしやすいです。

からだの抵抗力(免疫力)が弱まる



肺炎は日本人の死因の

第3位¹⁾



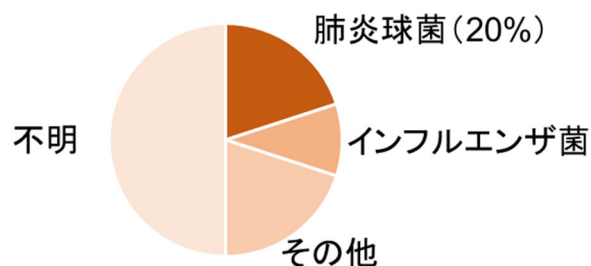
肺炎による死亡者の

約95%は65歳以上¹⁾



96.9%

肺炎の原因微生物



65歳以上の市中肺炎の原因菌の中で、

最も多いのは「肺炎球菌」!!

どうすれば予防できるの？

毎日の感染予防

からだの免疫力を高める

予防接種を受ける



うがい



手洗い



マスクの着用



歯磨きなどで
口腔内を清潔にする



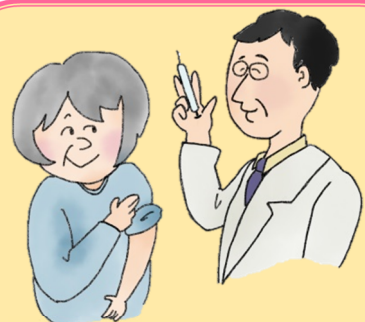
誤嚥（ごえん）
を防ぐ



喫煙者は禁煙をする



規則正しい生活をする



成人用 肺炎球菌ワクチン

肺炎球菌ワクチンが推奨される方

- ・肺炎で入院あるいは肺炎の既往のある方
- ・呼吸器疾患：COPD、気管支喘息、間質性肺炎、肺癌など
- ・循環器疾患：心房細動、心臓弁膜症、虚血性心疾患など
- ・脳血管疾患：脳梗塞・脳出血、認知症、パーキンソン病など
- ・糖尿病、慢性腎臓病、慢性肝臓病など
- ・ステロイドなど免疫抑制剤を服用されている方、脾臓を摘出した方
- ・老人施設や長期療養施設などに入所されている方 など

ワクチンについて教えて!

2014 年 10 月より成人の肺炎球菌感染症に対して
定期予防接種の取り組みが開始されました。

	ニューモバックスNP (PPSV23)	プレベナー20 (PCV20)
含まれる抗原	23 種類	20 種類
抗体作らせる能力	低い	高い
効果の持続	短い	長い
再接種の必要性	5年ごと	無
公費助成の有無	対象年齢で 1 回有	無

細菌やウイルスに感染すると、

その病原体に対する抵抗力が体内に生まれます。



この原理を応用したのがワクチンによる予防接種です。



当院での肺炎球菌ワクチン推奨（2025年4月以降）

65歳で定期接種（ニューモバックス）が原則

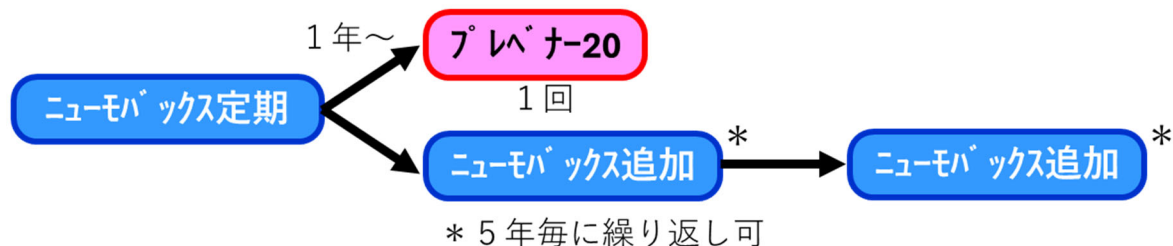
- ・ 65歳未満で肺炎球菌感染症の罹患リスクがある方はプレベナー20を接種

プレベナー20

（65歳でニューモバックス定期接種を推奨）

1回

- ・ 65歳以上で肺炎球菌ワクチンの定期接種を受けた方



- ・ 65歳以上で肺炎球菌ワクチンの定期接種を受けていない方

プレベナー20

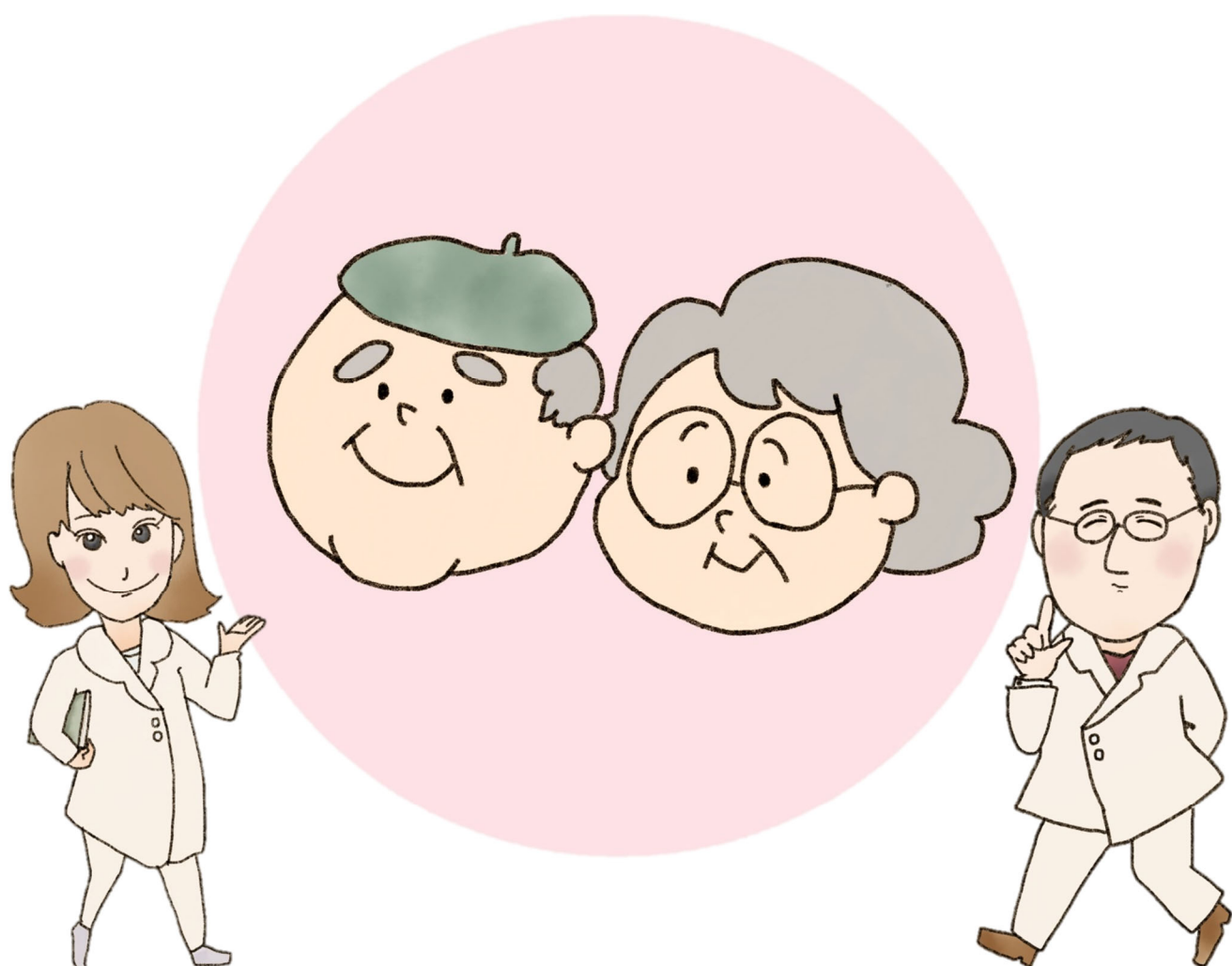
1回

肺炎球菌ワクチンの注意点

- 過去に肺炎球菌ワクチンを接種したことがある方は、
前回接種した時期を必ずお知らせください。
- 肺炎球菌ワクチンの接種後に、接種部位の症状（痛み、赤み、腫れなど）、筋肉痛、だるさ、発熱、頭痛などが現れることがあります。
気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐにご相談ください。
- 接種後にワクチン手帳をお渡しします。
なくさないように大切に保管してください。

肺炎球菌ワクチン を受けられる方へ

～安心してワクチン接種をしていただくために～



監修 長野県立信州医療センター
感染症センター長

山崎善隆

作成 薬剤科 三澤貴美 香川貴亮 田中健二
イラスト 角間みなみ